



# 第155期 中間報告書

2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日



## フルサイズミラーレスカメラ 「Z 7」「Z 6」を発売 ▶ P05

### Contents

株主の皆様へ	▶ P01
事業別の概況	▶ P03
ニュース・フラッシュ	▶ P05
デジタル一眼レフカメラ「D3500」を発売	
株式会社ニコンヘルスケアジャパン営業開始 ほか	
会社概況・株式の状況	▶ P07

株式会社 **ニコン**

証券コード：7731



代表取締役 兼  
社長執行役員

牛田 一雄

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第155期中間期(2018年4月1日～2018年9月30日)の事業の概況についてご報告申し上げます。

#### ■ 当中間期の概況

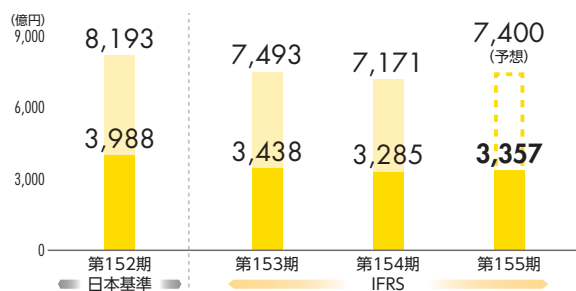
当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)の経済状況は、我が国経済は個人消費の持ち直しや設備投資の増加等が見られ、緩やかな回復基調が続きました。米国は個人消費の増加等により拡大が続き、欧州も回復基調にありました。また、中国は米中貿易摩擦等を背景とした減速傾向が見られました。

事業別では、映像事業においては、レンズ交換式デジタルカメラ市場及びコンパクトデジタル

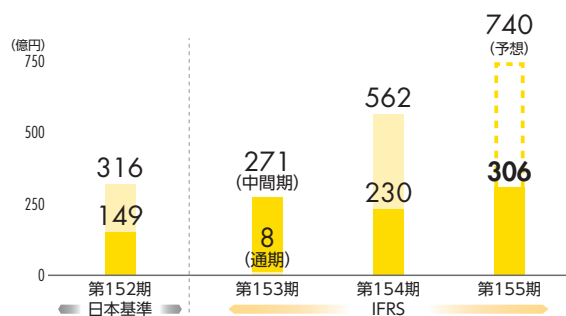
カメラ市場は縮小傾向が続きました。精機事業においては、FPD関連分野及び半導体関連分野ともに設備投資は堅調に推移しました。ヘルスケア事業においては、バイオサイエンス分野では海外を中心に市況が回復し、眼科診断分野では網膜画像診断機器市場が引き続き堅調に推移しました。

当社グループでは、2016年11月に発表した構造改革の最終年度である当事業年度は、持続的な企業価値創造を実現するため、引き続き経営体質の改善に取り組みました。具体的には、ポートフォリオ経営の定着に向けた仕組みの確立と着実な運用を推進するとともに、資本効率を重視した経営指標に基づく事業運営の社内への展開に努めました。また、より透明で規律ある体制の構築を目指して、コーポレート・ガバナンス

■ 売上収益 ■ 中間期 ■ 通期

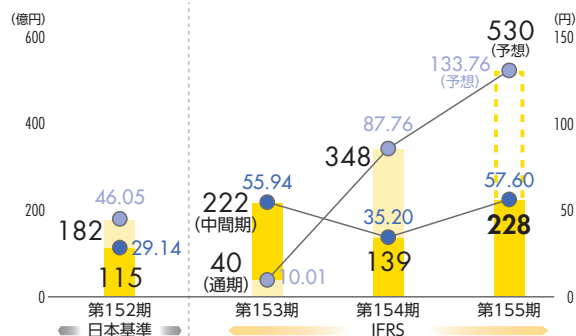


■ 営業利益 ■ 中間期 ■ 通期

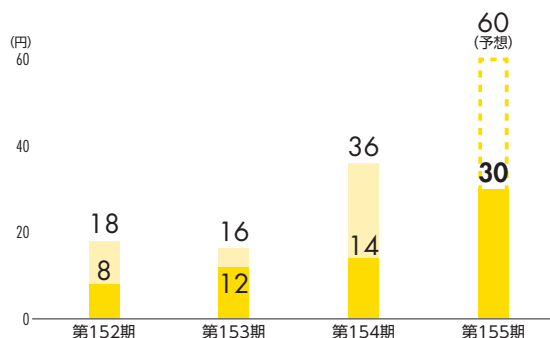


■ 親会社の所有者に帰属する当期利益 ■ 中間期 ■ 通期

● 基本的1株当たり当期利益 ● 中間期 ● 通期



■ 1株当たり配当金 ■ 中間 ■ 年間



※第152期は従来の日本基準に基づいており、「売上収益」は「売上高」の、「親会社の所有者に帰属する当期利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」の、「基本的1株当たり当期利益」は「1株当たり当期純利益」の数値を記載しています。なお、億円表示は単位未満を切り捨てて表示しています。

※第155期からの収益認識基準変更に伴い、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部は売上収益から控除されます。第155期の売上収益への影響は約70億円の見込みです。

詳しい財務情報は当社ホームページをご覧ください。 <https://www.nikon.co.jp/ir/> ニコン 投資家情報 検索

の強化も推進しました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は3,357億48百万円、前年同期比72億98百万円(2.2%)の増収、営業利益は306億41百万円、前年同期比76億24百万円(33.1%)の増益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は228億22百万円、前年同期比88億77百万円(63.7%)の増益となりました。

■ 通期の見通し

通期の事業環境は、映像事業では、レンズ交換式デジタルカメラ市場及びコンパクトデジタルカメラ市場は、ともに縮小が続くことが予想されます。精機事業では、FPD関連分野の設備投資は、前期並みの水準を維持すると見込まれます。また、半導体関連分野の設備投資は、概ね堅調に

推移するものと見込まれます。ヘルスケア事業においては、バイオサイエンス分野では、海外市場の好調が継続すると見込まれ、眼科診断分野では、網膜画像診断機器市場が引き続き堅調に推移するものと見込まれます。

なお、年間配当予想については、配当性向40%以上とする株主還元方針に沿って、当中間期末までの業績ならびに今後の事業展開を勘案し、1株当たり60円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2018年11月



## 事業別の概況

### 映像事業

売上収益

1,509億54百万円 前年同期比 13.8%減

営業利益

132億49百万円 前年同期比 14.2%減

主要製品

レンズ交換式デジタルカメラ・  
コンパクトデジタルカメラ・交換レンズ・  
フィルムカメラ・望遠鏡



デジタル一眼レフカメラ「D850」

#### ■ 当中間期の概要

レンズ交換式デジタルカメラは、全体の販売台数は減少しましたが、デジタル一眼レフカメラ「D850」の販売が好調に推移しました。また、2018年9月には大口径の新マウントを採用したフルサイズミラーレスカメラ「Z 7」や軽量コンパクトなデジタル一眼レフカメラのエントリーモデル「D3500」を発売し、好評を博しました。

コンパクトデジタルカメラは、光学125倍ズームを搭載した「COOLPIX P1000」など高付加価値製品の販売が堅調に推移しましたが、市場が縮小するなか、全体の販売台数は減少しました。

これらの結果、当事業の売上収益は1,509億54百万円、前年同期比13.8%減、営業利益は132億49百万円、前年同期比14.2%減となりました。

#### ■ 通期の見通し

デジタルカメラ市場は縮小が続くことが予想され、売上収益は3,200億円、営業利益は310億円となる見込みです。

※ 第155期からの収益認識基準変更に伴い、従来販売管理費として計上していた販売促進費の一部は売上収益から控除されます。通期の売上収益への影響は約70億円の見込みです。

### 精機事業

売上収益

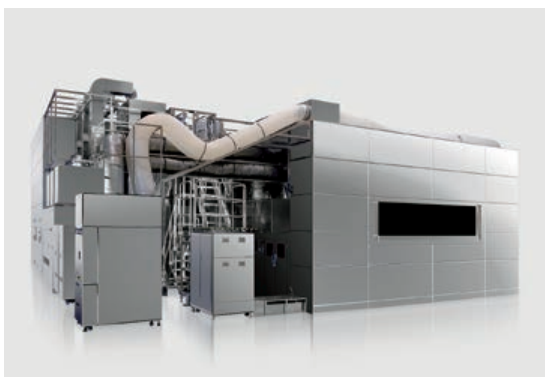
1,216億74百万円 前年同期比 24.1%増

営業利益

298億43百万円 前年同期比 47.9%増

主要製品

FPD露光装置・半導体露光装置



FPD露光装置「FX-103S」

#### ■ 当中間期の概要

FPD露光装置分野では、中小型パネル用装置の販売台数が減少した一方、第10.5世代プレートサイズに対応した「FX-103S」や、第8世代プレートサイズに対応した「FX-86S2」等の大型パネル用装置が販売台数を伸ばし、大幅な増収増益となりました。

半導体露光装置分野では、ArF液浸スキャナーの販売台数減少により減益となりましたが、黒字体質の定着に向けた構造改革は計画通り進捗しております。

これらの結果、当事業の売上収益は1,216億74百万円、前年同期比24.1%増、営業利益は298億43百万円、前年同期比47.9%増となりました。

#### ■ 通期の見通し

FPD関連分野の設備投資は前期並みの水準を維持すると見込まれます。また、半導体関連分野の設備投資は概ね堅調に推移するものと予想されます。売上収益は2,820億円、営業利益は680億円となる見込みです。

## ヘルスケア事業

売上収益

294億3百万円 前年同期比 16.3%増

営業利益

△23億74百万円 前年同期は △21億79百万円

主要製品

生物顕微鏡・細胞培養観察装置・  
超広角走査型レーザー検眼鏡



研究用倒立顕微鏡[ECLIPSE Ti2]

### ■ 当中間期の概要

バイオサイエンス分野では、海外を中心に好転した市況の下で生物顕微鏡の販売が増加し、増収となりました。

眼科診断分野も、超広角走査型レーザー検眼鏡の販売が海外を中心に増加し、増収となりました。

これらの結果、当事業の売上収益は294億3百万円、前年同期比16.3%増となりましたが、眼科診断分野や再生医療関連への戦略投資の強化等の影響により、23億74百万円の営業損失(前年同期は21億79百万円の営業損失)となりました。

また、当事業においては、眼科用医療機器の販売やアフターフォロー、メンテナンスを行う中央産業貿易株式会社を完全子会社化しました。なお、2018年10月1日付にて、同社を当社完全子会社のOptos株式会社が吸収合併し、株式会社ニコンヘルスケアジャパンとして営業を開始しました。

### ■ 通期の見通し

バイオサイエンス分野では海外市場の好調が継続するものと見込まれ、眼科診断分野では網膜画像診断機器市場が引き続き堅調に推移するものと見込まれます。売上収益は630億円、営業損失は30億円となる見込みです。

## 産業機器・その他

売上収益

337億17百万円 前年同期比 12.8%増

営業利益

27億91百万円 前年同期比 80.6%増

主要製品

工業用顕微鏡・測定機・  
特注機器・FPDフォトマスク基板



X線/CT検査システム[XT H 450]

### ■ 当中間期の概要

産業機器事業では、CNC画像測定システム等の販売が堅調に推移するとともに、構造改革により収益性が改善され、増収増益となりました。

カスタムプロダクツ事業では、固体レーザーと特注機器が増収となりました。

ガラス事業では、FPDフォトマスク基板や光学素材の拡販を進め、増収となりました。

この結果、これらの事業を含む売上収益は337億17百万円、前年同期比12.8%増、営業利益は27億91百万円、前年同期比80.6%増となりました。

### ■ 通期の見通し

産業機器事業ではCNC画像測定システムやX線検査装置の販売拡大に努めます。売上収益は750億円、営業利益は60億円となる見込みです。

Product

## 新次元の光学性能を追求した「Z マウントシステム」誕生 フルサイズミラーレスカメラ「Z 7」「Z 6」を発売

「Z 7」「Z 6」は、像面位相差AF画素搭載の新開発裏面照射型ニコンFXフォーマットCMOSセンサーと、新画像処理エンジン「EXPEED 6」を搭載。「Z 7」は有効画素数4575万画素と常用感度ISO 64～25600を達成した高画素モデル、「Z 6」は有効画素数2450万画素と常用感度ISO 100～51200のオールラウンドモデルです。

また、フォーカスポイントが撮像範囲の約90%をカバーするハイブリッドAFシステムによる高いAF精度、優れた光学技術を活かしたクリアで自然な見えを実現する電子ビューファインダーやカメラ内センサーシフト式手ブレ補正などの多彩で充実した機能を備えています。

そして最大の特長となる「Z マウントシステム」とは、大口径の新マウント採用のミラーレスカメラ、それに対応するNIKKOR Z レンズおよびアクセサリで構成されるシステムで、ニコンがこれまで培ってきた画作り、優れた操作性や高い信頼性を継承し、新次元の光学性能を追求しています。

「Z 7」「Z 6」とともに、その性能を最大限に活かすNIKKOR Z レンズ3本も発売。新開発された



「Z 7」

NIKKOR Z レンズは、内径55mmの大口径「Z マウント」とフランジバック16mmの組み合わせがもたらす高いレンズ設計自由度により光学性能の驚異的な向上を実現しました。また、「マウントアダプター FTZ」を介して、豊富なレンズバリエーションを誇るニコン一眼レフカメラ用NIKKOR F レンズが使用可能です。

Product

## 写真を手軽にシェアできるエントリーモデル デジタル一眼レフカメラ「D3500」を発売



「D3500」は、ホールド性に優れたボディー、再生ボタンの大型化や背面右側に集約したボタンレイアウトなど操作しやすい軽量コンパクトのエントリーモデルです。NIKKOR F レンズとの組み合わせにより高画質で美しいボケ味が手軽に楽しめ、撮影した写真は「SnapBridge」アプリによりスマートデバイスへ転送、SNSなどで手軽にシェアしていただけます。

News

## 世界的ESG投資指標が企業の持続可能性を評価 「DJSI World」「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に初選定



世界的なESG(環境・社会・ガバナンス)投資指標の一つである「Dow Jones Sustainability Indices(以下、DJSI)」において、「DJSI World」と「DJSI Asia Pacific」の構成銘柄に初めて選定されました。毎年世界の大手企業約2,500社を対象に「経済」「環境」「社会」の3つの側面から企業の持続可能性を評価。今年のDJSI World選定企業は317社(うち日本企業34社)、DJSI Asia Pacific選定企業は150社(うち日本企業75社)で、ニコンは「レジャー用品および民生用電子機器」部門において選定されました。



## 世界最大視野数の広視野観察を実現 共焦点レーザー顕微鏡システム 「A1 HD25」 「A1R HD25」 を発売

「A1R HD25」  
(研究用倒立顕微鏡  
「ECLIPSE Ti2」に装着)



面積比で従来の約2倍にあたる世界最大\*の視野数25mmの広視野を高速・高解像に画像取得できる共焦点レーザー顕微鏡システムです。バイオサイエンス分野で高まる生体組織やモデル生物の大型サンプルを生きたまま観察するニーズに応えた製品です。広視野観察により、視野周辺部の重要な現象を逃さずとらえ、研究の可能性を広げます。

※ 2018年8月30日時点で、発売済みのポイントスキャニング方式共焦点レーザー顕微鏡システムにおいて、ニコン調べ。

## 世界最高の光学125倍ズームを実現 コンパクトデジタルカメラ 「COOLPIX P1000」を発売



広角24mmから超望遠3000mm相当(35mm判換算)までをカバーする世界最高\*1の光学125倍ズームを搭載。手ブレ補正効果5.0段\*2の「デュアル検知光学VR」で手持ちでの超望遠撮影時にもブレを効果的に抑えます。野鳥や天体をはじめ、超望遠撮影に威力を発揮するコンパクトデジタルカメラです。

※1 2018年8月30日現在、発売済みのコンパクトデジタルカメラにおいて、ニコン調べ。

※2 CIPA規格準拠。約350mm(35mm判換算)で測定。

### ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報や財務情報、事業活動や製品情報などをはじめとする様々な情報を掲載しております。当社をよりご理解いただくためにも是非ご覧ください。

[HP https://www.nikon.co.jp](https://www.nikon.co.jp)

ニコン

検索

## NEXIVシリーズで最高精度の測定を実現 CNC画像測定システム 「NEXIV VMZ-H3030」を発売



ニコン独自の光学技術と画像処理技術を用いて、各種精密機器や電子部品などの寸法を自動で測定する装置です。高精度リニアエンコーダと精密動作ステージにより、「NEXIVシリーズ」の中で最高精度の測定を実現し、厳密な品質管理が要求される各種測定用途に幅広く対応します。

## 眼科用医療機器の販売、サービスを強化 株式会社ニコンヘルスケアジャパン 営業開始

ニコンは、眼科用医療機器の輸入・販売を行い、国内の幅広い販売網と高度な知識、経験を持つ中央産業貿易株式会社を完全子会社化。同社と、ニコンの子会社で超広角走査型レーザー検眼鏡の国内販売会社であるOptos株式会社を経営統合し、株式会社ニコンヘルスケアジャパンとして2018年10月1日から営業開始しました。

これを機に、国内での眼科用医療機器の販売、サービスにおいて戦略的かつ効果的な体制強化を加速させます。サービス向上と販売拡大を図り、市場におけるニコンのプレゼンスを一層高め、「失明のない世界」の実現を目指すとともに、世界中の人々のQOL(Quality of Life)の向上に貢献していきます。



# 会社概況・株式の状況 (2018年9月30日現在)

## 会社概要

**社名(英文社名)** 株式会社ニコン(NIKON CORPORATION)  
**本社所在地** 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟  
 TEL 03-6433-3600  
**設立年月日** 大正6年(1917年)7月25日  
**資本金** 654億76百万円  
**従業員数** 単体 4,417名/連結 21,141名  
 (注) 単体従業員数にはニコンから他社への出向者等を含みません。

## 役員

### 1. 取締役 ※ 社外取締役

**代表取締役** 牛田 一雄 岡 昌志  
**取締役** 岡本 恭幸 小田島 匠 萩原 哲  
 根岸 秋男\*  
**取締役 常勤監査等委員** 本田 隆晴 鶴見 淳  
**取締役 監査等委員** 上原 治也\* 畑口 紘\* 石原 邦夫\*

### 2. 執行役員

**社長執行役員** 牛田 一雄  
**副社長執行役員 兼 CFO** 岡 昌志  
**常務執行役員** 岡本 恭幸 馬立 稔和 浜田 智秀  
 御給 伸好 村松 享幸 小田島 匠  
 萩原 哲  
**執行役員** 岩岡 徹 吉川 健二 長塚 淳  
 平岩 弘之 杉本 直哉 中山 正  
 新谷 誠 濱谷 正人 鈴木 博之  
 池上 博敬 森本 哲也 金原 寿郎

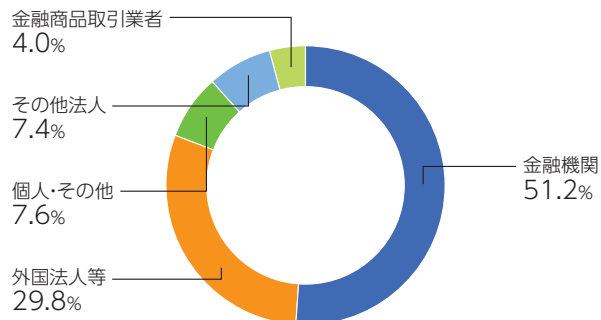
## 事業所

**本社** 〒108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟  
**大井製作所** 〒140-8601 東京都品川区西大井1-6-3  
**横浜製作所** 〒244-8533 神奈川県横浜市栄区長尾台町471  
**相模原製作所** 〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台1-10-1  
**熊谷製作所** 〒360-8559 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201-9  
**水戸製作所** 〒310-0843 茨城県水戸市元石川町276-6  
**横須賀製作所** 〒239-0832 神奈川県横須賀市神明町1-15

## 株式の状況

**発行済株式の総数** 400,878,921株  
**株主数** 26,227名

### 所有者別株式数分布状況



### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	42,648	10.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	30,141	7.6%
明治安田生命保険相互会社	19,537	4.9%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	9,005	2.3%
株式会社三菱UFJ銀行	7,378	1.9%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	7,341	1.8%
株式会社常陽銀行	6,801	1.7%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	6,792	1.7%
J P モルガン証券株式会社	6,332	1.6%
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	5,739	1.4%

(注) 持株比率は自己株式数(4,071,884株)を控除して計算しています。

本報告書は、注記のない限り、記載金額及び株式数は表示単位未満を四捨五入しています。

## 株主メモ

**事業年度** 4月1日～翌年3月31日

**期末配当金  
受領株主確定日** 3月31日

**中間配当金  
受領株主確定日** 9月30日

**定時株主総会** 毎年6月

**単元株式の数** 100株

### 公告の方法

電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載して行います。  
<https://www.nikon.co.jp/ir/bp/index.htm>

**株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL 0120-232-711(通話料無料)  
 (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



株式会社ニコン  
 108-6290 東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟  
[www.nikon.co.jp](http://www.nikon.co.jp)

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

